

小論文

人間福祉学科（社会福祉専攻）

小論文課題
下記は、魯迅の「賢人と馬鹿と奴隷」の全文である。 もしあなたであれば「奴隷」にどのような助言を行うか？「賢人」と「馬鹿」の双方の相談の良い点悪い点に言及し、あなたの考えを 800 字から 1000 字以内で述べなさい。 なお、本作品は中国を舞台として 1925 年に発表された作品であるが、もしあなたの回答、助言に必要であれば、時代設定、国、地域設定は自由に行って良い。 魯迅 「賢人と馬鹿と奴隷」 奴隷はとにかく人に向って不平をこぼしたがるものであります。何かにつけてそうですし、またそうしかできないのです。ある日、彼はひとりの賢人に行きあいました。 「先生」と、彼は悲しそうに言いました。涙が糸のようにつながって、眼のふちから流れ落ちました。 「あなたはご存じでしょう。私の暮らしは、まるで人間の生活ではありません。食べるものといったら、一日に一回あるかなし、その一回がまた、高粱のカスばかり、犬や豚だって食べたがります。おまけに、小さな碗にたった一杯……」 「まったくお気の毒だね」賢人も、痛ましげに言います。 「そうですとも」彼は、愉快になってきました。「そのくせ、仕事は昼も夜も休みなしなんです。朝は水汲み、晩は飯たき、屋は使い走り、夜は粉ひき、晴れば洗濯、雨降りや傘さし、冬は火燃しで、夏は扇ぎ、夜中のご馳走つくり、御主人は麻雀、おこぼれどころか、貰うものは鞭だけ……」 「まあまあ……」賢人は、ためいきをつきました。眼のふちが少し赤くなって、いまにも涙がこぼれそうでした。 「先生、これではとてもつづきそうにもありません。ほかに何とかやり方を考えないことには。でも、どんなやり方があるでしょう……」 「いまにね、きっとよくなるよ……」 「そうでしょうか。そう願いたいものです。でも、私は、先生に悩みを打ち明けて、同情して頂いたり、慰めて頂いたりしましたので、すっかり気が楽になりました。まったく、お天道様は見殺しにはなさらないものですね……」 けれども二、三日たつと、彼にはまた不平が起ってきました。そこで例のように、不平を訴える相手を探しに出かけてゆきました。 「先生」と、彼は涙を流して言いました。「あなたはご存じでしょう。私の住んでいるところは、豚小屋よりももっとひどいのです。主人は私を、人間あつかいしてくれません。私より狎ころの方を、何万倍もかわいがっています……」 「唐変木!」と、その人は、いきなり大声でどなったので、彼はびっくりしました。その人は馬鹿でありました。 「先生、私の住んでいるところは、ちっぽけなぼろ小屋です。じめじめして、まっくらで、南京虫だらけで、願ったかと思うとたかってきて、やたらに食いまわります。むっと鼻をつくように臭いのです。四方に窓一つあいていません……」 「おまえの主人に言って、窓を開けてもらうことができんのか」 「めっそうもない……」 「それじゃ、おれを連れて行って見せろ」 馬鹿は、奴隷のあとについて、彼の家へ行きました。そしてさっそく、家の外から泥の壁をこわしにかかりました。 「先生、何をなさるのです」彼はびっくり仰天して、言いました。 「おまえに窓を開けてやるのさ」 「いけません。主人に叱られます」 「構うものか」相変らずこわしつづけます。 「誰か来てくれ。強盗がわたらの家をこわしているぞ。早く来てくれ。早く来ないとぶっこ抜いてしまうぞ……」泣きわめきながら、彼は地面をのたうちまわりました。 奴隷たちがみんな来ました。そして馬鹿を追い払いしました。 叫び声をききつけて、ゆっくり最後に出てきたのが、主人でありました。 「強盗が、わたくしどもの家を毀そうといたしました。わたくしが、一番はじめにどなりました。みんなで力を合せて、追っ払いました」彼は、うやうやしく、勝ち誇って言いました。 「よくやった」主人は、そう言ってほめてくれました。 その日、大勢の人が、見舞いにやって来ました。賢人もそのなかにまじっていました。 「先生、今回は私に手柄があって、主人がほめてくれました。このまえ、先生が、きっといまによくなると言ってくださったのは、ほんとうに、先見の明で……」希望に満ちたように、彼は朗らかにそう言いました。 「なるほどね……」賢人も、お蔭で愉快だと言わなければなら、そう答えました。 (1925 年 12 月 26 日) <u>魯迅「賢人と馬鹿と奴隷」『魯迅選集 第1巻』(岩波書店、1964 年)</u>

上記の小論文課題について本学所定様式に 800～1000 字以内で記述し、出願書類に同封してください。

人間福祉学科社会福祉専攻アドミッション・ポリシー

社会福祉専攻では、以下のような志願者を求めています。

1. 将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分あると認められる人物。
2. 社会福祉の分野に活かせる具体的な能力や技能を有し、大学での勉学や将来において活用が期待できる人物。
3. 将来、アジアや太平洋地域をはじめとする国際的な場における支援活動に参加することを熱望する人物。

また、上記のいずれかに該当する学生を募集する上で、各種入学者選抜試験では次のような点を具体的な評価の指標とします。

1. 社会福祉の専門的な役割等について、的確に説明することができる人物か
2. 大学で学びたいことと自分自身の将来像とのつながりについて、的確に説明できる人物か
3. 国内外の社会問題、生活問題等について強く関心をもつ人物か
4. 社会参加および社会貢献に対して、意欲や積極的な姿勢をもつ人物か
5. 社会福祉を科学的に学ぶ（他者の声を聞き取り、要点を整理し、記述する）ための基礎的学力を有する人物か

総合型選抜試験（A日程）

小論文

人間福祉学科（社会福祉専攻）

総合型選抜(A日程) 学科指定
※受験番号大学記入

フリガナ		生年月日（西暦）
志願者名		年 月 日生

	5
	10
	15
	20
	25
	30

※A4用紙で片面印刷してください。